



ふくしま文化情報

《とうほう・みんなの文化センターと県内のイベント情報を掲載》



庄司朝美《19.9.3》2019年 撮影：加藤健 個人蔵



高木優希《Room》2024年 公益財団法人大原芸術財団 大原美術館蔵

福島アートアニュアル 2026 FUKUSHIMA ART ANNUAL

世界 ↔ わたし

Asami Shoji / Yuki Takagi
庄司朝美 / 高木優希

【会期】

6/2 (火) ~ 7/5 (日)

【時間】 9:30 ~ 17:00 (最終入館 16:30)

【会場】 福島市・県立美術館

【料金】 一般・大学生 400円、高校生 200円
小・中学生 100円
障がい者無料 (障がい者手帳要提示)

【休日】 月曜日

【問合せ】 美術館 (024) 531-5511

福島ゆかりの若手作家を紹介

第5回目となるシリーズ企画。今回は、いわき市生まれの庄司朝美と、福島市出身の高木優希を紹介する。直感的に降りてくるイメージを即興的に表現する庄司、他者の私室の写真をもとに油絵具で緻密に描く高木。現実とも虚構ともつかない絵画の世界を創り上げるふたりの作品から、「描くこと」や「見ること」に改めて目を向けていく。

6月6日(土) 午後2時から、出品作家本人によるギャラリートークを開催。

Event Schedule

イベントスケジュール6月

※本誌に掲載した情報は、すべて5月10日現在のものです。
主催者の都合により掲載内容が変更となる場合がございますので、ご了承ください。

《スケジュール内の記号について》
チケット販売中 県文化センター管理事務所でチケット販売中
遠がいき割引 **遠がいき無料** 手帳など証明書類を所持、主催者へ要問合せ
所 開催場所 **出** 出演予定者
時 開演・開始時間 **曲** 演奏予定曲
休 休館日 **講** 講師予定者
料 料金 **題** 演題
問 お問い合わせ
 ※(前売)の記載がない場合、当日券の料金(税込み)

音楽

6/6(土)
うた工房 Choral アトリエ 第6回定期演奏会
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 14:00 **料** 一般・大学生500円、高校生以下無料
出 伊藤勲(指揮)、遠藤紘子(ソプラノ)、宮西一弘(テノール)
問 事務局(024)554-6122
 ※1998(平成10)年に福島市で結成した混声合唱団。

6/7(日) **チケット販売中**
エノモティアード vol. 6
所 二本松市コンサートホール **時** 13:30
料 3,000円
出 榎本知香(ヴァイオリン、二本松市出身)
 榎本一輝(チェロ、同市出身)
 宮武佑果(ヴァイオリン)、松本珠里(同)
問 事務局(080)1834-7539
 ※二本松市出身の兄妹演奏家たちによる弦楽器コンサート。



6/7(日)
白河市コミネス交響楽団 第5回定期演奏会
所 白河市・白河文化交流館コミネス **時** 14:00
料 《全席指定》一般(19歳以上)1,000円、U18(18歳以下)500円
出 水戸博之(指揮)、大竹晃司(同)、北端祥人(ピアノ)
問 コミネス(0248)23-5300
 ※白河文化交流館コミネスに附属するオーケストラとして2021(令和3)年に発足した楽団。未就学児入場不可。

6/7(日)
YAMATO String Quartet in Fukushima
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂)
時 14:00 **料** 《全席指定》6,000円
出 石田泰尚(ヴァイオリン)、執行恒宏(同)
 榎戸崇浩(ヴァイオリン)、阪田宏彰(チェロ)

問 福島テレビ 事業部(024)536-8010
 ※未就学児入場不可。

6/13(土)
箏合奏新曲リサイタル 大川義秋 作品集VOL. 1
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 13:00
料 《全席指定》(前売)S席10,000円、A席5,000円、B席4,000円
 (当日)S席10,500円、A席5,500円、B席4,500円
問 箏男 kotomen office メール: kotomen.contact@gmail.com
 ※双葉町出身の箏奏者・大川義秋のリサイタル。同じく箏奏者の大澤陽介、Erikらゲストを迎える。

6/13(土)・14(日)
セラフ・ブラス
所 13日福島市・パルセいざが、14日会津若松市・會津風雅堂
時 両日とも14:00
料 《全席指定》(前売)6,000円(当日)6,000円、学生席2,000円
 ※学生席は小学生以上大学生以下で、開演1時間前に発売(要学生証提示)
問 MIN-ON仙台(022)355-4772
 ※米国の主要オーケストラや音楽大学の第一線で活躍する金管五重奏団。未就学児入場不可。

6/14(日)
ディズニー・オン・クラシック 夢とまほうの贈りもの 2026
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 17:30
料 SS席12,000円、S席8,900円、A席7,600円、B席6,300円
 学生席2,000円
問 サンライズプロモーション(0570)00-3337
 ※オーケストラと日本人歌手による、ディズニー・アニメーションや映画、テーマパークの音楽の生演奏。未就学児入場不可。

6/21(日)
稲村美穂 フルトリサイタル
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
時 13:00
料 一般・大学生2,000円、高校生以下1,000円
曲 ドビュッシー「シリクス」ほか
問 事務局 inamura.fl47@gmail.com
 ※いわき市出身のフルート奏者のソロリサイタル。

6/21(日)
スペシャルサロンコンサート 舘野 泉 プレミアム・コンサート ~最高峰の音色が紡ぐ 至高のアンサンブル~
所 南相馬市民文化会館ゆめはっと **時** 15:00
料 (前売)一般・大学生2,500円、高校生以下無料(要整理券)
 (当日)一般・大学生3,000円、高校生以下無料(要整理券)
出 舘野泉(ピアノ)、齋藤充(ユーフォニアム、南相馬市出身)ほか
問 ゆめはっと(0244)26-5410
 ※同館の名誉館長で「左手のピアニスト」として知られる舘野泉によるソロ演奏や管楽奏者7名との協演など。未就学児入場不可。

6/21(日)
創立5周年記念 古関裕而のまち「ふくしまチェンバー・オーケストラ」6月公演
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) **時** 14:00
料 《全席指定》一般4,000円、大学生以下1,000円
出 飯森範親(指揮)、大谷康子(ヴァイオリン)
曲 モーツァルト「歌劇『魔笛』序曲」ほか
問 音楽堂(024)531-6221
 ※福島ゆかりのプロの音楽家によって構成されたオーケストラ。未就学児入場不可。

6/27(土)
ボンボンアカデミー いっちー&なる ピアノとうたおう♪サマーコンサート in 郡山
所 郡山市・けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)
時 10:30、14:00
料 《全席指定》中学生以上2,500円、小学生以下500円
 3歳以下膝上鑑賞無料(席が必要な場合は有料)
曲 とんとんとんとん ひげじいさん ほか
問 郡山市民文化センター(024)934-2288
 ※YouTubeで活躍中のユニットによる、家族で楽しめるファミリーコンサート。

6/28(日)
福島中央子ども劇場40周年記念公演 結城奈央 ピアノコンサート 小品の珠手箱~天才作曲家たちの思い~
所 福島市・ふくしん夢の音楽堂(福島市音楽堂) **時** 14:30
料 一般・大学生1,000円、高校生以下無料(要申込)
問 福島中央子ども劇場(024)533-7323
 ※福島市出身で、国際コンクールなどで活躍しているピアニスト。高校生以下は6月25日(木)まで申込受付(要問合せ)。小学生以下要保護者同伴。

6/28(日)
福島マンドリンアンサンブル マンドリン プロムナードコンサート2026
所 福島市・福島学院大学 宮代キャンパス
時 14:00 **料** 無料 **問** 事務局(080)6004-5884
 ※福島市を拠点に活動するマンドリンアンサンブル。

舞台

6/27(土)
喜多方市合併20周年記念事業 喜多方 酒蔵オペラ「ラ・ボエーム」
所 喜多方市・喜多方プラザ文化センター **時** 14:30
料 《全席指定》(前売)S席6,000円
 一般・大学生A席4,000円、小・中学・高校生A席2,000円
 (当日)S席6,500円
 一般・大学生A席4,500円、小・中学・高校生A席2,500円
問 さわかみオペラ芸術振興財団(0570)023-223
 ※プロのオペラ歌手と公募で集まった一般市民による合唱団。ジャコモ・プッチーニ作曲のオペラ「ラ・ボエーム」を、オーケストラの伴奏とともに原語上演(日本語字幕付き)。未就学児入場不可。

6/27(土)・28(日)
TOIカンパニー 第2回公演「永遠の朝 明ける」
所 いわき市・いわき芸術文化交流館アリオス
時 27日13:30・18:30、28日13:30
料 (前売)一般2,500円、18歳以下1,000円
 (当日)一般2,800円、18歳以下1,000円
問 事務局(090)6852-2458
 ※いわき市で昨年旗揚げした演劇団体。未就学児入場不可。

注目 6/21(日) 音屋ホール開設10周年記念 **狩野泰一~和洋融合の響~「篠笛×和太鼓×ピアノ」全国ツアー**

各分野で活躍する3名の奏者が古今東西の音を奏でる

所 相馬市・音屋ホール **時** 15:00 **料** (前売)一般・大学生4,000円、高校生以下2,000円
 (当日)一般・大学生4,500円、高校生以下2,500円

出 狩野泰一(篠笛)、金子竜太郎(和太鼓)、林正樹(ピアノ) **問** 音屋ホール(0244)32-1717
 ※2016(平成28)年にオープンした同ホールの開設10周年を記念したコンサート。太鼓芸能集団「鼓童」で長年活躍してきた篠笛奏者・狩野泰一と和太鼓奏者・金子竜太郎に、毎日映画コンクール音楽賞受賞や大河ドラマ劇中音楽に参加するなど数々の経歴をもつピアニスト・林正樹が加わり、古今東西の音が重なり合う唯一無二の音色を響かせる。

注目 6/27(土) **バリ島の奉納舞踊劇「チャロナラン」**
 - 聖獣バロンと魔女ランダの終わりなき戦い -

インドネシアの伝統舞踊劇を「ガムラン」の演奏とともに上演

所 三春町・三春交流館「まほら」 **時** 13:30
料 《全席指定》(前売)一般・大学生3,000円、高校生以下1,500円
 (当日)一般・大学生3,500円、高校生以下2,000円 **問** まほら(0247)62-3837

※インドネシア・バリ島の寺院などで演じられてきた奉納舞踊劇「チャロナラン」の特別公演。《善と悪の均衡を保つことで世界の平和が保たれる》という古くからのバリ島の思想に基づいた物語。バリ島から演者が来日し、日本各地で活躍するガムラン界の名手らとともに、インドネシアの伝統楽器「ガムラン」の生演奏で舞踊劇を上演する。



自主上映

6/7(日)
令和8年度田村市文化センター自主文化事業
まちそわシネマVol. 2「兄を持ち運べるサイズに」

所 田村市文化センター 時 13:30、17:30
¥ 一般・大学生500円、高校生以下300円
問 田村市文化センター (0247)82-5030
※上映作品は、兄の突然の訃報から、様々な事実に直面する家族の実話をもとに映画化した「兄を持ち運べるサイズに」(2025年、127分)。アプリによる日本語字幕、音声ガイドもある。

6/28(日)
令和8年度白河市東文化センター
定期映画上映会 第2弾「父と僕の終わらない歌」

所 白河市東文化センター 時 13:30
¥ 一般・大学生1,000円、中学・高校生500円、小学生以下無料
問 東文化センター (0248)34-1131
※上映作品は、サイモン・マクダーモット著の実話をもとに描いた「父と僕の終わらない歌」(2025年、93分)。

展 示

開催中～6/7(日) 聴がいの無料
堀内誠一展 FASHION・FANTASY・FUTURE
所 いわき市立美術館 時 9:30～17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日 ¥ 一般1,200円、高校・大学生600円、小・中学生400円
問 美術館(0246)25-1111
※絵本、デザイン、アートディレクションなど様々な分野で活躍した堀内誠一の多彩で卓越した仕事を紹介。

開催中～6/21(日) 聴がいの無料
ムシできない虫たちー暮らしの中の人と虫ー
所 会津若松市・県立博物館
時 9:30～17:00(観覧チケット販売は16:30まで) 休 月曜日
¥ 一般・大学生1,200円、高校生以下無料
問 博物館(0242)28-6000
※私たちの暮らしと歴史的・文化的に深く結びついてきた「虫」について様々な資料を通して紹介。6月7日(日)午後1時30分からは同館学芸員による手話付き展示解説会を開催。

開催中～6/21(日)
心平誕生月記念展示「カエルのステンドうちわ」
所 いわき市草野心平生家 時 9:00～16:00(最終入館 15:45)

休 月曜日 ¥ 無料
問 いわき市立草野心平記念文学館(0246)83-0005
※「蛙の詩人」とよばれた草野心平の誕生月にあたり、いわき市の小学生が蛙をモチーフに制作したうちわを約40点展示。

開催中～6/21(日)
童話作家 山内秋生(やまのうち あきお)・
戦争遺品からみる 大正・昭和のただみ
所 只見町、ただみ・モノとくらしのミュージアム
時 9:30～17:00(最終入館 16:30) 休 月曜日 ¥ 無料
問 ミュージアム(0241)86-2175
※只見町に残された戦争遺品や、同町出身の児童文学者・山内秋生の「蛍のお宮」(大正14年出版)などの著作物を、大正・昭和戦前期の只見のくらしを垣間見ることができる生活民具とともに展示。

開催中～6/28(日)
会津地方・復興への軌跡
所 喜多方市カイギウランドたかさと
時 9:00～16:30(最終入館 16:00) 休 月曜日
¥ 一般・大学生250円、小・中学・高校生100円
問 カイギウランドたかさと(0241)44-2024
※詳細は裏表紙インタビューコーナー参照。



開催中～6/28(日)
安達郡設置1120年記念企画展
ここまでわかった郡山台遺跡
所 二本松市・二本松歴史館(にほんまつ城報館内)
時 9:00～17:00(最終入館 16:30) 休 月曜日 ¥ 無料
問 二本松市教育委員会文化課(0243)55-5154
※古代の役所「安達郡衙」が置かれていたとされる二本松市杉田の郡山台遺跡について、これまでの発掘調査の成果を紹介。

開催中～7/12(日)
県歴史資料館収蔵資料展 水郡線応援
「東白川郡の古文書ー矢祭町編ー」
所 福島市・県歴史資料館
時 9:00～17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日 ¥ 無料
問 資料館(024)534-9193
※水郡線活性化を応援するため、同館収蔵の水郡線沿線地域の古文書を取り上げるシリーズ展の第3弾。江戸・明治時代を中心とした矢祭町にゆかりのある古文書を紹介。



開催中～7/20(月・祝) 聴がいの無料
開館30周年プレ企画展1「斎藤清と柳津」
所 柳津町・やないづ町立斎藤清美術館
時 9:00～16:30(最終入館 16:00)
休 月曜日(7/20をのぞく)、6/1～6/5は展示替えのため観覧不可
¥ 一般510円、高校・大学生300円、小・中学生無料
問 美術館(0241)42-3630
※斎藤清美術館の誕生へといたる物語を、柳津町を舞台にした作品を通じて紹介。5月31日(日)までは「豪雪にいざなわれて」、6月6日(土)からは「この地で、たたかい続ける」をテーマに作品を入れ替えて展示。会期中の第2・4日曜日午後2時からは同館学芸員によるギャラリートークもある。

開催中～8/23(日)
エントランス企画展「二つの史跡」
所 福島市・じょーもびあ宮畑 時 9:00～17:00(最終入館 16:30)
休 火曜日(7/21、7/28、8/4、8/11、8/18をのぞく) ¥ 無料
問 じょーもびあ宮畑(024)573-0015
※阿武隈川中流域の宮畑遺跡と和台遺跡の出土土器などを比較しながら、複式炉分布圏のなかでの文化の共通性と個性を紹介。

開催中～8/31(月) 聴がいの無料
コトコトジャーニー
所 猪苗代町・はじまりの美術館 時 10:00～18:00
休 火曜日(8/11をのぞく)、8/12
¥ 一般・大学生800円、高校生以下無料
問 美術館(0242)62-3454
※イラストレーター・小池アミイゴ、版画家・若木くるみなど6組の作家のいろいろな旅の形を表現する作品を紹介。

開催中～11/29(日) 聴がいの割引
昭和山物語ー三松正夫から三松三朗へー
所 北塩原村・磐梯山噴火記念館
時 8:00～17:00 休 会期中無休
¥ 一般・大学生600円、中学・高校生500円、小学生400円
問 記念館(0241)32-2888
※1945(昭和20)年に誕生した昭和山を見守り、その後の保全に務めた三松正夫氏と、その活動を引き継ぎ、地域の火山防災に尽力した三松三朗氏の二人を顕彰する巡回展。

5/29(金)～6/28(日) 聴がいの割引
寛政文晁と烏文晁
所 白河市・藤田記念博物館 時 10:00～16:00 休 月曜日
¥ 一般500円、高校・大学生300円、中学生以下無料

問 博物館(0248)24-1780
※江戸絵画の巨匠・谷文晁の、30歳代と50歳以降の作品を比較展示する。5月30日(土)・6月7日(日)両日も午前11時から、同館学芸員による展示解説会もある。

5/30(土)～7/20(月・祝) 聴がいの無料
Tranquillamento(トランキラメント)後藤學展
所 喜多方市美術館 時 10:00～18:00(最終入館 17:30)
休 水曜日 ¥ 一般・大学生600円、小・中学・高校生250円
65歳以上75歳未満300円、75歳以上無料
問 美術館(0241)23-0404
※喜多方市出身の画家・後藤學の油彩画やテンペラ画のほか、デッサンや水彩画なども紹介。

6/2(火)～7/5(日) 聴がいの無料
福島アートアニュアル2026
世界とわたし 庄司朝美/高木優希
所 福島市・県立美術館
時 9:30～17:00(最終入館 16:30) 休 月曜日
¥ 一般・大学生400円、高校生200円
小・中学生100円
問 美術館(024)531-5511
※詳細は表紙参照。




6/4(木)～6/14(日)
出会いと感動の旅 総集編
ーこの美しい地球に生まれてー
所 福島市写真美術館(花の写真館)
時 10:00～16:00(初日は13:00から、最終日は15:00まで)
休 会期中無休 ¥ 無料 問 事務局 masato_baba@yahoo.co.jp
※福島市在住の写真愛好家・馬場正人さんの作品展。ウユニ塩湖やマチュピチュ遺跡など、世界各地で撮影した101点を展示。

6/13(土)～9/23(水・祝) 聴がいの無料
蠣崎波響と門人たち
所 伊達市梁川美術館 時 9:30～17:00(最終入館 16:30)
休 月曜日(7/20、9/21をのぞく)、7/21～7/26、8/12
¥ 一般・大学生500円、高校生以下無料 問 美術館(024)527-2656
※没後200年を記念し、江戸時代後半の文化文政期、梁川の地で作品制作をした画人・蠣崎波響と門人たちの梁川や信達地方に残された作品を中心に展示し、その足跡をたどる。6月14日(日)、7月11日(土)、8月23日(日)、9月12日(土)各日も午後2時から、同館館長と学芸員による作品解説がある。7月28日(火)より第2期を開催。

注目 開催中～6/30(火) 聴がいの無料
ARAFUDO ART AGAIN 2026
(アラフド アート アゲイン)
温泉街を舞台にした国際芸術祭を12年ぶりに開催
所 福島市・土湯温泉町内各所 時 会場によって異なる 休 会場によって異なる
¥ 無料 ※一部会場では有料のほか、各会場の展示を何度でも鑑賞可能なチケット(2,000円)もある
問 つちゆ芸術万華郷実行委員会(024)595-2217
※東日本大震災をきっかけに2013(平成25)年から始まった現代美術の芸術祭「アラフド アートアニュアル」を、「アラフド アート アゲイン(AAA)」として12年ぶりに開催。福島市・土湯温泉町内の旅館や空き店舗、寺社など13か所で、国内外の20組のアーティストらが「風に舞う歴史の天使」をテーマに様々な表現を披露する。



注目 開催中～6/30(火) 聴がいの無料
清光堂書店物語～教科書から絵はがきまで～
実物資料から地域の文化振興に貢献した書店の歴史をたどる
所 いわき市勿来関文学歴史館 時 9:00～17:00(最終入館 16:30) 休 6/17
¥ 一般330円、中学・高校・大学生220円、小学生170円
問 歴史館(0246)65-6166
※明治から昭和初期にかけて、現在のいわき市平にあった書籍文房具店「清光堂書店」。書籍販売のほか、絵葉書や郷土資料を発行し、地域の文化振興にも貢献した。本展では、清光堂が発行した書籍や書店を運営していた関内家に残る資料約60点を展示し、文化人らとの関係性を踏まえながらその歩みを紹介する。6月14日(日)午後2時から、同館学芸員によるギャラリートークもある。



6/20(土)～6/28(日)
二人展 野瀬昌樹 齋藤僚太

所 鏡石町・鏡石鹿嶋神社参集殿
時 10:00～17:00 休 会期中無休 料 無料
問 参集殿(0248)62-1670
※自然をモチーフに制作する齋藤と、狼を中心とした動物を描く野瀬の2名の版画家の作品を展示。

6/27(土)～8/23(日)
20世紀北欧デザインの巨匠
スティグ・リンドベリ展

所 いわき市立美術館
時 9:30～17:00(最終入館16:30)
7・8月の金曜日は20:00まで(最終入館19:30)
休 月曜日(7/20、8/10をのぞく)、7/21
料 一般1,200円、高校・大学生600円、小・中学生400円
問 美術館(0246)25-1111
※20世紀北欧デザインを代表するスウェーデンの陶芸家でデザイナーのスティグ・リンドベリのテーブルウェアなど、約300点の作品を紹介。

6/27(土)～9/27(日)
第1回「いわきの民俗芸能」

所 いわき市暮らしの伝承郷
時 9:00～17:00(最終入園16:30)
休 火曜日(8/11、9/22をのぞく)、8/12、9/24
料 一般340円、高校・大学生220円、小・中学生170円
問 伝承郷(0246)29-2230
※いわき市内各地で受け継がれているじゃんがら念仏踊りなど、郷土色豊かな民俗芸能についての分布や歴史を紹介。7月4日(土)・25日(土)、8月8日(土)・29日(土)、9月12日(土)午後1時30分と、9月26日(土)午前10時30分からは、同園職員による展示解説会もある。

県外

開催中～6/21(日)
吉田璋也のデザイン
一新作民藝運動がめざした未来

所 茨城県陶芸美術館 時 9:30～17:00(最終入館16:30)
休 月曜日 料 一般・大学生950円、高校生710円
小・中学生360円、満70歳以上470円
問 美術館(0296)70-0011

※医師でありながら民藝のプロデューサーとして日常の暮らしに用いられる品を自らデザインし、生産・流通・販売の体制を確立した吉田璋也による、伝統的な手仕事を現代の生活に根付かせるためにデザインした陶器、家具、テキスタイルなどの作品や資料297件を紹介。

開催中～8/26(水)
第112回企画展
「仙台の遺跡めぐり Digging Up! SENDAI!!」

所 宮城県・地底の森ミュージアム
時 9:00～16:45(最終入館16:15)
休 月曜日(7/20をのぞく)、5/28、6/25、7/21、7/23、8/12
料 一般・大学生460円、高校生230円、小・中学生110円
問 地底の森ミュージアム(022)246-9153
※仙台市内の遺跡から出土したユニークで特徴的な資料を展示。

震災からの県民の「心の復興」と福島県を担う人材育成を目的に実施する公益目的事業「未来への文化発信事業」を推進しております。

この事業への寄附をお願いします。



講演・講座

6/4(木)
第9回れきしら解説講座 テーマ『小峰城』

所 白河市役所 時 10:00 料 無料(要申込)
問 白河市まちづくり推進課(0248)28-5533
※定員先着50名(要申込)。白河の歴史の手引き『れきしら』入門編をテキストに、白河市文化財課学芸員が小峰城の歴史について解説。電話にて申込受付。

6/6(土)
講話「経営者・関内家の歴史ー江戸期を中心にー」

所 いわき市・勿来の関公園 体験学習施設「吹風殿」
時 13:30 料 無料(要申込)
講 磯上知予子(いわき歴史文化研究会会員)
問 いわき市勿来関文学歴史館(0246)65-6166
※定員先着50名(要申込)。ホームページ内申込フォーム、メール(bunreki@iwaki-ec.or.jp)、文学歴史館電話にて申込受付。企画展「清光堂書店物語～教科書から絵はがきまで～」関連イベント。

6/13(土)
第1回宮畑講座「和台遺跡と宮畑遺跡」

所 福島市・じょーもびあ宮畑 時 13:30 料 無料(要申込)
講 堀江格(同館学芸員)
問 じょーもびあ宮畑(024)573-0015
※定員先着80名(要申込)。縄文時代中期後葉の拠点的な集落である宮畑遺跡と和台遺跡を直接的に比較し、複式炉分布圏のなかでの文化の共通性と、その差異に見る地域・集落ごとの個性を解説。電話またはメール(jomopia-miyahata@f-shinkoukousha.or.jp)にて申込受付。詳細は要問合せ。

6/13(土)
まほろん令和8年度第1回館長講演会

所 白河市・県文化財センター白河館まほろん 時 13:30
料 無料 講 石川日出志(同館館長)
題 遺跡・遺構をどうみつけるのか
問 まほろん(0248)21-0700
※土中に埋もれている遺跡を、どのように見つけているのかについて解説する。

6/28(日)
考古資料館講座

所 いわき市考古資料館 時 10:00 料 無料(要申込)
問 資料館(0246)43-0391
※定員先着20名(要申込)。ホームページ内申込フォーム、窓口、電話、FAX(0246-43-0395)、メール(info@iwaki-koukoshiryokan.jp)にて申込受付。考古資料館の展示資料から、同館学芸員がいわきの歴史や考古学について解説する。

その他

6/14(日)
ムシテックワールドがやってくる

所 会津若松市・県立博物館 時 10:00 料 無料
問 博物館(0242)28-6000
※企画展「ムシできない虫たちー暮らしの中の人と虫ー」関連イベント。須賀川市のムシテックワールド(ふくしま森の科学体験センター)の出張展示。生きた虫たちと触れ合える。

財団トピックス

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)

福島県文化センター再開館記念・県政150周年記念事業 「県民劇でたどる『ふくしまの歴史』」6月29日(月)チケット発売!



9月1日(火)の福島県文化センター再開館に先立ち、8月29日(土)・30日(日)に「ふくしまの歴史」をテーマにした演劇公演を開催します。県内4つのアマチュア劇団が、「はま・なか・あいづ」の歴史や人物を取り上げた作品を上演します。

6/29(月) 9:00 チケット販売開始!

県文化センター管理事務所窓口で販売。
販売開始後、電話(024-534-9191)・
ホームページからのご予約も受け付けます。



▲詳細はこちら

【会場】福島市、とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)

【料金】1 公演 一般・大学生1,000円 / 高校生以下 500円
2日通し券 一般・大学生3,000円 / 高校生以下1,500円
(限定150枚)

※全席自由、障がい者手帳提示により補助者1名無料

公演スケジュール ※各回30分前開場予定

8/29(土) 11:00 オープニングセレモニー

11:10 小ホール 劇団ぴ〜ひゃらら(会津若松市)



明治の兄弟〜山川家の人々〜

元会津藩家老で陸軍大佐の山川浩と兄弟たちが、幕末から明治にかけ時代に翻弄され、心に深い傷を負いながらも新しい時代を強く生きようとする姿を描く。

14:00 大ホール しらかわ演劇塾(白河市)



おらほの殿さん〜松平定信伝〜

名君として知られる第12代白河藩主・松平定信の生涯を舞台化。白河領民のための藩政を行った愛情深い姿を描き、現代に受け継がれる「定信の遺志」に想いを馳せる。

8/30(日)

11:00 大ホール他 劇団120〇EN(福島市)



椅子語り

〜福島県文化センターの椅子の話〜
椅子にまつわる「物語」を売る不思議なお店から飛び出した椅子たち。福島県文化センターの話を含む昭和の物語4篇を上演。

14:00 小ホール 富岡町民劇団(富岡町)



命を繋ぐ人々

〜生きている生きてゆく〜
原発事故に伴う避難生活から、再生・復興していく『福島』に希望をもち進んで行く町民の姿を描く。

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター) 文化会館の利用申請受付会場について

とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)は、令和8年9月1日(火)に再開館を予定しております。

これにともない、毎月1日(1月は5日)に、1年後の当該月分の「利用申請受付会」を開催しています。文化センター休館中は、以下の管理事務所を会場とします。

【受付会場】とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所
所在地:福島市山下町1-25

【受付時間】8:30～9:30
【お問合せ】文化推進課 TEL(024)534-9191

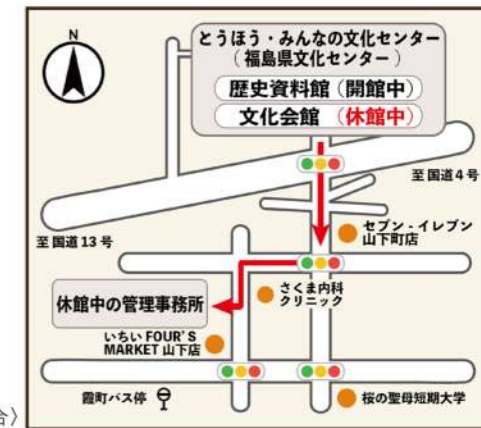
会場への行き方を
動画で紹介中!



(自家用車の場合)



(公共交通機関の場合)



とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)管理事務所販売中のチケット ※5月10日現在の情報です。
【県文化センター】

イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
演歌熱唱! 夢の競演	大ホール	9月11日(金)10:30	《全席指定》 S席6,000円	ミキ・プロモーション(090)8788-3839 オカダ・プランニング(0225)22-0934

【県文化センター以外の会場】

イベント名	会場	開催日時	料金(前売)	お問合せ
エノモティアード vol.6	二本松市コンサートホール	6月7日(日)13:30	3,000円	事務局(080)1834-7539
ヴァイオリンの名器! テレビからはわからない! 「ストラディバリウス」の実音を聴いたことはありますか?	福島市・ふくしん夢の音楽堂 (福島市音楽堂)	7月20日(月・祝)13:30	《全席指定》 SS席5,000円、S席4,000円 A席3,000円	事務局(024)545-4486
KFB福島放送 開局45周年記念 松本市美術館所蔵草間彌生 版画の世界ー反復と増殖ー	福島市・県立美術館	7/18(土)～9/23(水・祝) 9:30～17:00(最終入館16:30)	一般・大学生1,300円 中学・高校生1,100円 小学生400円	KFB福島放送(024)933-5856

スポットライト

— 今、注目のイベント情報

企画展「会津地方・復興への軌跡」

震災と豪雨災害の記憶を継承 会津地方の復興を伝える企画展

#19 喜多方市カイギュウランドたかさと 職員 森川 卓さん

2011(平成23)年は、3月に東日本大震災、7月に新潟・福島豪雨が発生し、大災害が続いた年だった。本展は、この未曾有の災害から15年の節目に合わせて企画された。2つの災害から会津地方がどのように復興してきたのか、その過程を写真パネルなどで紹介している。

企画立案者である森川さんは、「会津も震災で家屋の倒壊や液状化が多発したが、被害状況があまり知られていないことにもどかしさを感じていた。この機会に、会津の復興にも関心を持ってもらいたい」と話す。

企画展は、かつてJR東日本の運転士だった森川さんならではの視点から、「鉄道」にスポットを当てた内容になっている。前期展では、震災で深刻な燃料不足に陥った被災地に、磐越西線ルートで石油を緊急輸送したディーゼル機関車の功績を伝えた。

開催中の後期展では、豪雨による只見川の氾濫で、流域を走るJR只見線の橋梁の崩落や、磐越西線の盛土が流出した被害状況を紹介している。只見線は2022(令和4)年10月に全線運転再開したが、森川さんは、「運休が長引き、沿線地域や奥会津の活気が失わ



当時の想いを振り返る森川さん

れていくのではないかと不安でいっぱいだった」と当時を振り返る。

施設内では、来館した子どもたちが楽しめるよう、橋梁や会津地方の山々などが森川さんの手によって再現されたHOゲージ・Nゲージ鉄道模型の展示も行っている。震災時の磐越西線の石油輸送がリアルに表現されており、森川さんが出勤している日であれば、鉄道模型が走る様子を見ることもできる。

森川さんは、「今の子どもたちの中には震災・豪雨災害を知らない子も多い。これからも会津地方の復興の道のりを、後世に伝えていきたい」と語る。



森川さんが制作した鉄道模型
製作期間は2か月程だという

会津地方・復興への軌跡

日時：開催中～6/28(日)
9:00～16:30(最終入館16:00)
会場：喜多方市カイギュウランドたかさと
料金：一般・大学生250円、
小・中学・高校生100円
休日：月曜日
問合せ：カイギュウランドたかさと
(0241)44-2024

